お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

本体(外側・内側)

ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンに含ませて洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

ふたユニット

丸洗いできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

パッキン

ふたパッキンをふたユニットから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

茶こし

茶こしをふたユニットから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。茶葉が詰まった場合は市販のブラシなどを使用して詰まりを取り除いてください。

食器洗浄機・乾燥機を使用する場合

ご使用になる食器洗浄機・乾燥機の取扱説明書をご確認のうえ、使用してください。

食器洗浄機・乾燥機を使用する際、次の点を必ず守ってください。

- ■本体・ふたパッキンは、それぞれ取りはずした状態で洗浄してください。
  内部に水分が残り、におい、汚れ、劣化の原因となるおそれがあります。
- ■ヒーター付近や温風吹き出し口の近くには置かないでください。
  高温により変形、変色の原因となります。
- ■食器かごの金属(無塗装)部分に本体が直接触れないようにしてください。
  塗装の劣化、キズ、変形の原因となります。
- ■業務用の食器洗浄機・乾燥機では使用しないでください。

部品交換

●パッキンは消耗品です。
1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

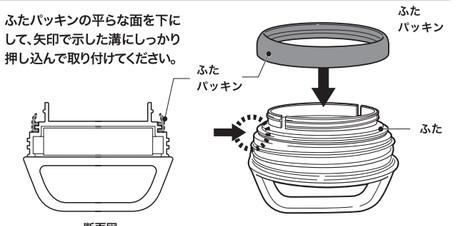
交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
https://www.atlasonline.jp

部品の取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。
お手入れなどでパッキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。

ふたパッキン

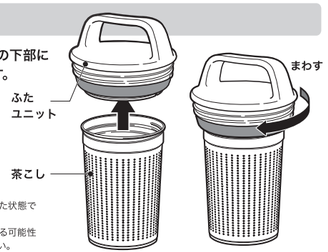
ふたパッキンの平らな面を下にして、矢印で示した溝にしっかり押し込んで取り付けてください。



注意:パッキン位置、形状が異なることが御座います。
現物の確認をお願いします。

茶こし

茶こしをふたユニットの下部に取り付けて、まわします。



※必ずふたパッキンを取り付けた状態でおこなってください。
※茶こしを圧迫すると、変形する可能性がありますのでご注意ください。

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

ボトル内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には...

サビのような赤い斑点ができた場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、ふたを取り付けず、3時間程放置した後に柔らかいスポンジ・ブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

食器洗浄機・乾燥機を使い、塗装面が白く変色した場合

白く変色したように見える場合は、食器洗浄機・乾燥機用洗剤の成分や、水垢・カルキが付着しているおそれがあります。気になる箇所に熱湯をかけ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。ぬれたまま放置すると、水滴の跡が残る原因になります。本体が熱くなりますので、やけどに十分ご注意ください。

製品仕様

品名		ステンレス製携帯用魔法瓶	
品番		ATST-280	ATST-473
材料の種類	本体	内びん／ステンレス鋼（セラミック塗装） 胴　部／ステンレス鋼（艶脂塗装） 口　金／ステンレス鋼	
	ふた	ポリプロピレン	
	パッキン	シリコーンゴム	
	茶こし	ステンレス鋼	
実容量		0.28L	0.473L
保温効力		81℃以上(1時間)　50℃以上(6時間)	83℃以上(1時間)　61℃以上(6時間)

※保温効力とは室温20℃±2℃において製品に熱湯をふたユニット下端まで入れ、湯温が95℃±1℃になったとき、ふたユニットをして載置きにした状態で1時間および6時間放置した場合におけるその湯の温度です。
※実容量とは、ふたパッキン下端までの全容量です。ご使用の際は取扱説明書をご確認のうえ、適切な量を入れてご使用ください。

MADE IN CHINA

表示者　株式会社アトラス
〒192-0046
東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F
https://www.atlas-scm.jp/

お問い合わせ　TEL.042-660-8870
受付時間／9:00～18:00
月～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店までご連絡ください。

食洗機対応

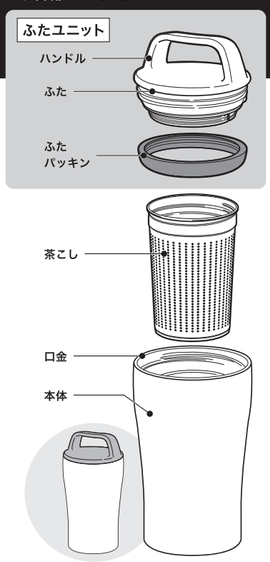
ATLAS

茶こし付き ステンレスタンブラー

取扱説明書

ATST-280,473

●各部のなまえ



このたびは、当社のステンレス製真空タンブラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただきますよう、お願いいたします。また、本書は万一ご使用中にわからなくなったときにお役に立ちますので、いつでもみられる所に大切に保管してください。

ご使用の前に

●はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたパッキンのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
●底面の製造ロットシールははがさないでください。
●はじめてご使用になるときは、本体内側・ふたを食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。

※イラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

取扱上の注意

●飲みものの保温・保冷以外に使用しないでください。
●沸騰直後の飲みもの、または非常に高い温度の飲みものは入れないでください。また、熱い飲みものを入れた場合、傾けた状態、または顔などを近づけた状態でふたユニットを開けないでください。内圧が上がり、飲みものが急激に出たり、飛散するなどやけどの原因となり危険です。
●ふたユニットを締めるときは、最後まで確実に締めてください。
●アルコール類、炭酸飲料、乳製品やドライアイスは入れないでください。
●熱い飲みものを飲むときは、本体を急に傾けないでゆっくりと飲んでください。
●携帯電話・デジタルカメラ・パソコンなど精密機器の近くでは使用しないでください。
●本体外側が結露したり、熱くなるような場合は、絶対に使用しないでください。
●火気の側に置かないでください。
●倒したり、落としたり、ぶつけたり、製品に強い振動、衝撃を与えないでください。
●電子レンジで加熱しないでください。
●冷凍庫に入れないでください。
●飲みものの量は、ふたユニットの下端より少なめに入れてください。取扱説明書3ページ右下の図を参考にしてください。
●ふたパッキン・茶こしが正しく取り付けられていることを7ページの図を参考に確認してご使用ください。
●運転しながらのご使用は非常に危険です。絶対におこなわないでください。
●お子さまの手の届かない所に保管してください。
●飲みものを入れた状態で長時間放置しないでください。
●本体を洗った後は、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。
●長時間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させ、湿気の少ない場所で保管してください。
●浸け置き洗いはしないでください。
●塩素系漂白剤は使用しないでください。
●酸素系漂白剤は本体にはご使用いただけません。
塗装が劣化するおそれがあります。
●缶ジュース・缶ビールなどを容器ごと入れないでください。
●大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いてお入れください。
●シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾等は使用しないでください。
●ハンドルを持って振り回すのはやめてください。
やけどや破損・事故の原因になります。
●使用により本体の塗装は徐々に劣化するおそれがあります。

ご使用方法

ご使用の前に
●はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
●製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

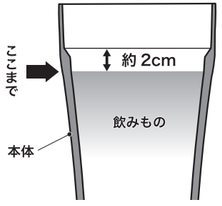
1 ふたユニットをはずす

ふたユニットをはずします。



2 飲みものを入れる

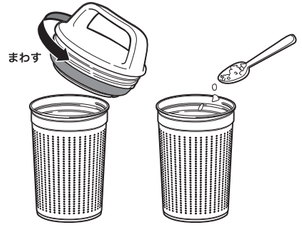
飲みものの量は、右図の➡部までにしてください。入れすぎるとふたユニットを締めたときに中身が溢れる場合があります。入れすぎた場合は、減らしてから、ふたユニットを締めてください。



＊あらかじめ、本体に熱湯（冷水）を入れ、1分程度置き、予熱（予冷）してから入れ替えると保温（保冷）に効果的です。
＊熱い飲みものを入れた際は、数十秒置いてからふたユニットをしてください。

3 茶葉を入れる

❶ 茶こしをふたユニットからはずし、茶葉を入れます。



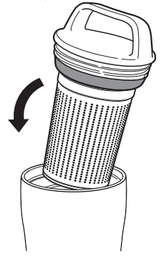
❷ 茶こしを取り付けます。



＊細かいお茶を入れる場合、茶こしから茶葉が出るおそれがあります。
＊茶こしを取り付ける際は、締め過ぎにご注意ください。

❸ ふたユニットを本体に取り付けます。

＊ふたユニットを本体に取り付ける際は、飲みものが溢れるおそれがあります。



＊熱い飲みものを入れた場合、やけどにご注意ください。

4 ふたユニットを締める

ふたユニットを矢印の方向へまわして締め、お好みの時間浸出します。



＊熱い飲みものを入れた場合、開けた時噴き出ることがあります。絶対に振るなどしないでください。
＊ふたユニットが開きにくくなった場合は、やけどに十分注意して必ず本体を立てた状態で布（タオルなど）をあてて、ゆっくりと開けてください。

⚠ 茶こしを取りはずす時

熱湯を入れた場合は、茶こしが高温になりますので、ゴム手袋などをお使いいただくか、冷水で十分に冷ましてから取りはずしてください。

＊やけどにご注意ください。

